



ゆいレール開業10周年!!

平成15年8月10日（道の日）、沖縄県唯一の軌道交通として、第一歩を踏み出したゆいレールは、今年10周年を迎えます。さらに、県民の夢をのせて浦添市への延長に向けて動き出しました。

※軌道…電車などの線路。レールを通して車両を走らせるための道。

浦添市への延長に向けて動き出す



リトハク号（ラッピング車両）

ゆいレールの概要

名称：沖縄都市モノレール（愛称 ゆいレール）
 区間：那覇空港駅～首里駅（営業キロ12.9km）
 駅数：15駅
 所要時間：片道27分
 車両編成：1編成2両で定員165人（2両合計）
 速度：平均速度28km、最高速度65km
 開業：平成15年8月10日



「123,456,789人乗車達成」記念式典写真

ゆいレール導入から10周年

戦後の沖縄は、移動手段が自動車中心となり、都心部では人口や産業の集中などで、慢性的な交通渋滞が発生していました。復帰後、都市モノレールの必要性が提起され、長い年月を経て、平成15年8月10日、戦後初の軌道系交通機関として、県民の期待を胸にゆいレールは第一歩を踏み出しました。今年の8月で10周年を迎えるゆいレールは、多くの県民や観光客などに、定時で交通渋滞もないなどの利点が受け入れられ、今ではなくてはならない県民の足として定着しています。

さらに、自動車系交通に比べて二酸化炭素や窒素酸化物の排出も減るため、環境により効果をもた

ゆいレールの乗客数

県民の皆さんの利用のおかげで、平成24年度には、1日の最高乗客数7万4423人、月間の最高乗客数134万5123人、年間最高乗客数1422万9789人と、それぞれ開業以来の最高乗客数を記録しました。このように、乗客数が伸びているゆいレールですが、過去にはリーマンショックに端を発した景気後退や、新型インフルエンザの流行によって観光客が減少するなど、乗客数が落ち込んだこともありました。

浦添市への延長も控え、安定したモノレール運営のために、これからも県民の皆さんの応援がますます必要となります。



浦添市への延長始動

現在、終着駅である首里駅から、浦添市を経由して沖縄自動車道まで続くモノレールの延長整備を進めています。延長は4.1キロメートルで、4つの駅を設置します。また、新しい終着駅となる（仮称）浦西駅と高速道路を結ぶインターチェンジやアクセス道路、パーク＆ライドのための駐車場も同時に整備を行う計画です。パーク＆ライドとは、自家用車で駅に行き、駅近くの駐車場に駐車した後、モノ

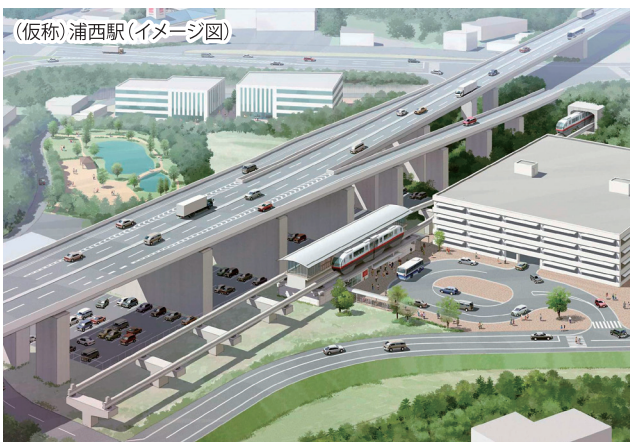
レールに乗り換えると、交通渋滞の影響もなく時間どおりに那覇の市街地に行くことができます。ようになり、とても便利になります。また、モノレールが整備されると、駅周辺のまちづくりにより、沿線地域の活性化が期待されます。さらに、電気を動力とするモノレールは、排気ガスを出さない環境に優しい乗り物です。延長区間では、地球環境に配慮したエコ駅の計画にも取り組んでいます。

開業は、平成31年の予定です。

開業10周年記念シンポジウム

沖縄都市モノレールの整備によりもたらされたさまざまな波及効果や、浦添市への延長に向けて期待される役割などについて、皆さんに理解を深めてもらうため、シンポジウムを開催します。

- 開催日時
8月16日(金)
午後2時～午後4時30分
 - 場所
沖縄県市町村自治会館 大ホール
(旭橋駅徒歩5分)
 - 参加料 無料
- 先着270名予定



（仮称）浦西駅（イメージ図）

延長ルート



ゆいレールファンクラブに入って応援しよう

「ゆいレールファンクラブ」に加入すると、フリー乗車券がプレゼントされ、またさまざまな店舗で割引やドリンクサービスなどの特典が受けられます。年会費は500円です。詳しくは、各駅窓口か沖縄都市モノレール(株)営業企画課 ☎098-859-2689



都市モノレール建設現場事務所開所（平成25年6月13日）

お問い合わせ

県都市計画・モノレール課 電話:098-866-2408 FAX:098-866-5938
 都市モノレール建設現場事務所 電話:098-943-5520 FAX:098-874-9511

